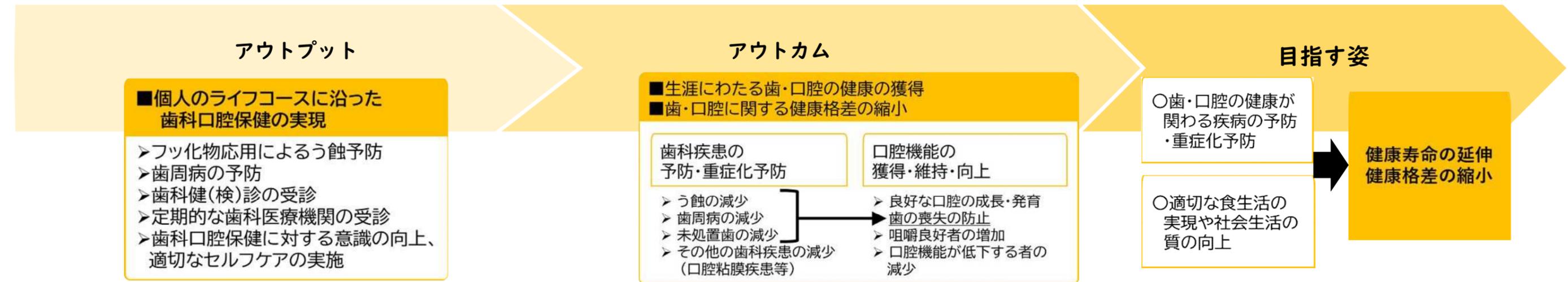


オーラルヘルス対策ロジックモデル



個人のライフコースに沿った歯科口腔保健の実現

中間目標	アウトプット指標	現状値	目標値
歯科健(検)診の受診率の向上	妊産婦歯科健診受診率	38.4% (R4)	46.0% (R9)
	1歳6か月児歯科健康診査受診率	75.3% (R4)	84.0% (R9)
	3歳児歯科健康診査受診率	67.9% (R4)	79.0% (R9)
	歯周病(歯周疾患)検診受診率(40歳・50歳・60歳・70歳の合計)	6.0% (R4)	10.0% (R9)
	19歳以上における過去1年間に歯科健診を受診した者の割合	46.8% (R4)	50.0% (R10)
	かかりつけ歯科医がいる者の割合(40~64歳)	69.0% (R4)	74.0% (R9)
口腔の健康と全身の健康の関係に関する知識の普及	19歳以上における歯周病と糖尿病の関係を知っている者の割合	32.6% (R4)	50.0% (R10)
	65歳以上における口腔ケアが誤嚥性肺炎を予防することを知っている者の割合	54.1% (R4)	70.0% (R10)

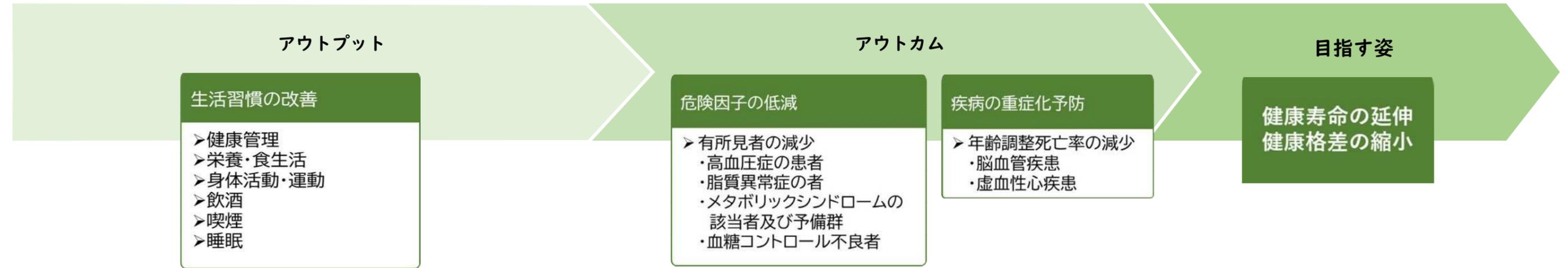
生涯にわたる歯・口腔の健康の獲得 歯・口腔に関する健康格差の縮小

中間目標	アウトカム指標	現状値	目標値
歯科疾患の予防・重症化予防	う蝕の減少	3歳児で4本以上のう蝕のある歯を有する者の割合	4.1% (R4) 2.0% (R9)
		3歳児でう蝕のない者の割合	87.7% (R4) 92.0% (R9)
		12歳児でう蝕のない者の割合	62.4% (R4) 増加傾向(67.9%) (R11)(R8)
	未処置歯の減少	40歳で未処置歯を有する者の割合	35.7% (R4) 34.0% (R9)
		60歳で未処置歯を有する者の割合	26.2% (R4) 18.0% (R9)
		中学生における歯肉に炎症所見を有する者の割合	19.7% (R4) 減少傾向(18.6%) (R11)(R8)
歯周病の減少	20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合	22.2% (R4) 14.0% (R10)	
	40歳で歯周炎を有する者の割合	53.4% (R4) 48.5% (R9)	
	60歳で歯周炎を有する者の割合	59.6% (R4) 52.0% (R9)	
口腔機能の獲得・維持・向上	咀嚼良好者の増加	50歳以上における咀嚼良好者の割合	65.8% (R4) 80.0% (R10)
	歯の喪失の防止	60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合	74.1% (R4) 87.0% (R10)
		80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合	57.7% (R4) 75.0% (R10)
40歳以上における自分の歯が19歯以下の者の割合		19.9% (R4) 11.0% (R10)	

目指す姿

目標	指標	現状値	目標値
健康寿命の延伸・健康格差の縮小	日常生活に制限のない期間の平均	男性: 71.94年 女性: 75.63年	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加 (R7)
	日常生活に制限のある期間(不健康な期間)の平均の男女差	2.93年 (男性: 8.50年、女性: 11.43年)	日常生活に制限のある期間の平均の男女差の縮小 (R7)

# 高血圧対策ロジックモデル



生活習慣の改善・健康管理		アウトプット指標	現状値	目標値
中間目標		特定健診の受診率	34.2% (R3)	第三期データヘルス計画(第四期特定健康診査等実施計画)に合わせて設定
特定健診受診率・特定保健指導の受診率の向上		特定保健指導の実施率	19.3% (R3)	
栄養・食生活	適正体重を維持している者の増加(肥満の減少)	20～60歳代男性の肥満者の割合(BMI:25以上)	31.3% (R4)	22.0% (R10)
		40～60歳代女性の肥満者の割合(BMI:25以上)	22.0% (R4)	16.0% (R10)
	野菜摂取量の増加	20歳以上の1日350g以上の野菜を食べていると思う者の割合	12.8% (R4)	13.6%以上 (R10)
	食塩摂取量の減少	20歳以上の塩分を控えていると思う者の割合	55.9% (R4)	78.0%以上 (R10)
身体活動・運動	運動習慣者の増加	20～64歳男性の運動習慣者の割合(30分以上、週に3日以上運動する人)	35.4% (R4)	38.9% (R10)
		20～64歳女性の運動習慣者の割合(30分以上、週に3日以上運動する人)	33.2% (R4)	36.5% (R10)
		65歳以上男性の運動習慣者の割合(30分以上、週に3日以上運動する人)	41.8% (R4)	46.0% (R10)
		65歳以上女性の運動習慣者の割合(30分以上、週に3日以上運動する人)	47.3% (R4)	52.0% (R10)
飲酒	過度な飲酒をする者の減少(1日あたりの純アルコール摂取量)	男性における過度な飲酒をする者の割合(40g(基準量2倍)以上)	44.0% (R4)	32.0% (R10)
		女性における過度な飲酒をする者の割合(20g(基準量)以上)	54.5% (R4)	38.0% (R10)
喫煙	喫煙率の減少	男性における20歳以上の者の喫煙率	27.7% (R4)	24.3% (R10)
		女性における20歳以上の者の喫煙率	8.0% (R4)	6.7% (R10)
睡眠	睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少	20歳以上の睡眠による休養を十分とれていない者の割合	43.9% (R4)	30.0% (R10)
血圧測定	自身の血圧を管理する者の増加	19歳以上における血圧を週に1回程度以上測る者の割合	24.8% (R4)	第三期データヘルス計画に合わせて設定

危険因子の低減		アウトカム指標	現状値	目標値
中間目標	高血圧症の患者の減少	高血圧症の患者の割合(180mmHg/110mmHg以上)(市国保健診)	1.02% (R3)	第三期データヘルス計画に合わせて設定
	脂質異常症の者の減少	脂質異常症の者の割合(市国保健診)	15.00% (R3)	
	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合(市国保健診)	35.30% (R3)	
	血糖コントロール不良者の減少	血糖コントロール不良者の割合(HbA1c8.4%以上)(市国保健診)	1.27% (R3)	
疾病の重症化予防		アウトカム指標	目標値	現状値
最終目標	脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少	男性の脳血管疾患の年齢調整死亡率(10万人当たり)	35.7 (H27)	最新値(令和2年値)が公表され次第設定予定
		女性の脳血管疾患の年齢調整死亡率(10万人当たり)	17.3 (H27)	
	虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少	男性の虚血性心疾患の年齢調整死亡率(10万人当たり)	22.9 (H27)	
		女性の虚血性心疾患の年齢調整死亡率(10万人当たり)	9.6 (H27)	

目指す姿		現状値	目標値
健康寿命の延伸・健康格差の縮小	日常生活に制限のない期間の平均	男性: 71.94年 女性: 75.63年	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加 (R7)
	日常生活に制限のある期間(不健康な期間)の平均の男女差	2.93年(男性: 8.50年、女性: 11.43年)	日常生活に制限のある期間の平均の男女差の縮小 (R7)

# 肥満対策ロジックモデル



**生活習慣の改善**

- ▶ 健康管理
- ▶ 栄養・食生活
- ▶ 身体活動・運動
- ・飲酒・喫煙・睡眠・職業要因
- ・心理社会的・社会経済的要因

**危険因子の低減**

- ▶ 有所見者の減少
- ・メタボリックシンドロームの該当者及び予備群
- ・高血圧症の患者
- ・脂質異常症の者
- ・血糖コントロール不良者

**疾病の重症化予防**

- ▶ 年齢調整死亡率の減少
- ・糖尿病(腎症、人工透析、失明)
- ・脳血管疾患(脳出血、脳梗塞)
- ・虚血性心疾患(心筋梗塞、狭心症)

**目指す姿**

健康寿命の延伸  
健康格差の縮小

生活習慣の改善・健康管理					危険因子の低減					目指す姿																		
中間目標	アウトプット指標	現状値	目標値		中間目標	アウトプット指標	現状値	目標値		中間目標	アウトカム指標	現状値	目標値		目標	指標	現状値	目標値										
特定健診受診率・特定保健指導の受診率の向上	特定健診の受診率	34.2%	(R3)	第三期データヘルス計画(第四期特定健康診査等実施計画)に合わせて設定	運動習慣者の増加	20~64歳男性の運動習慣者の割合(30分以上、週に3日以上運動する人)	35.4%	(R4)	38.9%	(R10)	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合(市国保健診)	35.30%	(R3)	第三期データヘルス計画に合わせて設定	健康寿命の延伸・健康格差の縮小	日常生活に制限のない期間の平均	男性: 71.94年 女性: 75.63年	(R元)	平均寿命の増加を上回る健康寿命の増加	(R7)							
	特定保健指導の実施率	19.3%	(R3)			20~64歳女性の運動習慣者の割合(30分以上、週に3日以上運動する人)	33.2%	(R4)	36.5%	(R10)	高血圧症の患者の減少	高血圧症の患者の割合(180mmHg/110mmHg以上)(市国保健診)	1.02%	(R3)			日常生活に制限のある期間(不健康な期間)の平均の男女差	2.93年(男性: 8.50年、女性: 11.43年)	(R元)	日常生活に制限のある期間の平均の男女差の縮小	(R7)							
適正体重を維持している者の増加(肥満の減少)	20~60歳代男性の肥満者の割合(BMI:25以上)	31.3%	(R4)	22.0%		(R10)	65歳以上男性の運動習慣者の割合(30分以上、週に3日以上運動する人)	41.8%	(R4)	46.0%	(R10)	脂質異常症の者の減少	脂質異常症の者の割合(市国保健診)	15.00%		(R3)	最終目標	年間新規透析導入患者数の減少	年間新規透析導入患者数の割合(市国保加入者 千人当たり)	0.60人	(R3)	第三期データヘルス計画に合わせて設定						
	40~60歳代女性の肥満者の割合(BMI:25以上)	22.0%	(R4)	16.0%		(R10)		65歳以上女性の運動習慣者の割合(30分以上、週に3日以上運動する人)	47.3%	(R4)	52.0%		(R10)	血糖コントロール不良者の減少		血糖コントロール不良者の割合(HbA1c8.4%以上)(市国保健診)							1.27%	(R3)	糖尿病の年齢調整死亡率の減少	男性の糖尿病の年齢調整死亡率(10万人当たり)	5.6	(H27)
	小学1年生の肥満傾向児の割合	6.81%	(R4)	減少傾向	(R11)	小学5年生男子の週60分以上、体育の授業以外で運動している割合		91.5%	(R4)	全国平均値以上	(R5)		脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少			女性の糖尿病の年齢調整死亡率(10万人当たり)							2.3	(H27)		男性の脳血管疾患の年齢調整死亡率(10万人当たり)	35.7	(H27)
	小学5年生男子の肥満傾向児の割合	15.46%	(R4)	減少傾向	(R11)	週60分以上、体育の授業以外で運動している子どもの増加	小学5年生女子の週60分以上、体育の授業以外で運動している割合	84.9%	(R4)	全国平均値以上	(R5)	虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少		男性の虚血性心疾患の年齢調整死亡率(10万人当たり)	22.9	(H27)							女性の虚血性心疾患の年齢調整死亡率(10万人当たり)	9.6	(H27)			
	小学5年生女子の肥満傾向児の割合	11.52%	(R4)	減少傾向	(R11)	過度な飲酒をする者の減少(1日あたりの純アルコール摂取量)	中学2年生男子の週60分以上、体育の授業以外で運動している割合	89.7%	(R4)	全国平均値以上	(R5)		喫煙	喫煙率の減少	男性における20歳以上の者の喫煙率	27.7%								(R4)	24.3%	(R10)	女性における20歳以上の者の喫煙率	8.0%
	バランスのよい食事を摂っている者の増加	小学生の主食・主菜・副菜を組み合わせたバランスのよい食事を1日2回以上摂取する者の割合	69.1%	(R4)	87.0%		(R10)	飲酒	男性における過度な飲酒をする者の割合(40g(基準量2倍)以上)	44.0%	(R4)	32.0%			(R10)	睡眠	睡眠による休養を十分とれていない者の減少	20歳以上の睡眠による休養を十分とれていない者の割合	43.9%	(R4)	30.0%	(R10)						
		中学生の主食・主菜・副菜を組み合わせたバランスのよい食事を1日2回以上摂取する者の割合	65.5%	(R4)	87.0%	(R10)	喫煙		女性における過度な飲酒をする者の割合(20g(基準量)以上)	54.5%	(R4)	38.0%	(R10)	朝食を欠食する者の減少	中学3年生における朝食をほとんど食べない者の割合			3.6%	(R4)	全国平均以下	(R5)	20~30代における朝食をほとんど食べない者の割合	25.3%	(R4)	20.0%	以下	(R10)	
	朝食を欠食する者の減少	20歳以上の主食・主菜・副菜を組み合わせたバランスのよい食事を1日2回以上摂取する者の割合	43.1%	(R4)	50.0%以上	(R10)		喫煙	男性における20歳以上の者の喫煙率	27.7%	(R4)	24.3%	(R10)		睡眠	睡眠による休養を十分とれていない者の減少	20歳以上の睡眠による休養を十分とれていない者の割合	43.9%	(R4)	30.0%	(R10)							
中学生の主食・主菜・副菜を組み合わせたバランスのよい食事を1日2回以上摂取する者の割合		65.5%	(R4)	87.0%	(R10)	喫煙	女性における20歳以上の者の喫煙率		8.0%	(R4)	6.7%	(R10)	睡眠	睡眠による休養を十分とれていない者の減少			20歳以上の睡眠による休養を十分とれていない者の割合	43.9%	(R4)	30.0%	(R10)							